

魚津市定例記者会見 4月

日時：平成28年4月1日（金） 午後1時30分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、
毎日新聞社、共同通信社、北日本放送、富山テレビ放送、NHK、
チューリップテレビ、NICE TV、新川コミュニティ放送

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、民生部長、産業建設部長
企画政策課長

1. 市長からの説明事項

(1) 新年度スタート

今年度、地域総合戦略推進室と女性活躍社会推進室をそれぞれ企画政策課と地域協働課の職員が兼務する形で新しく設けた。これから事業を推し進める柱と位置付けている。

地方創生が盛んに叫ばれているが、3月下旬には台湾の甲種旅行業者の皆さんと交流ができた。30数名の旅行事業者の方々に3泊4日、魚津に特化しご覧いただいた。魚津の自然、食体験、企業交流など体験され、商談も成立したと聞いている。今後は、春から夏にかけての魚津のイベント等に合わせて台湾からの来訪もあるのではと期待している。

(2) おつかいもん魚津の販売開始

魚津三太郎塾の修了生の中からは様々な業種が集まって三太郎倶楽部というものを立ち上げた。このグループが「おつかいもん魚津」というものを開発し、魚津の特産食材などをアピールしていく。ふるさと納税の返礼にも利用したいということで若い皆さんが頑張ってくれている。

(3) 第36回しんきろうマラソン

4月24日に開催される毎年恒例のしんきろうマラソンの申込者数は、3月末現在で6,700名を上回っている。昨年の5,900名をはるかに超える数字で運営面でも配慮が必要。今回の特徴としてハーフマラソンのエントリーが断然増えていると聞いている。市外、県外から来られた方が魚津の海岸線を走って魚津のいいイメージをもって帰り、マラソン以外で魚津にまた来てもらえるきっかけになればという期待もしている。

(4) その他今後のイベント等

来月開催のとやま森の祭典を平成29年春の全国植樹祭のプレイベントと位置付

けている。また、8月に行われる全国大学女子野球大会も30回を数えるに至り、記念大会ということでいろんな趣向を凝らしながらお客さんをお迎えできればと期待もしている。市全体としては来年の全国植樹祭に向けた取り組みなど忙しくなってくる。

11月は富山労災病院が新しくなるが、これに先駆けて今日から急患センターを開設した。これは労災病院と魚津市医師会が協力して夜間の急患も受け付ける体制を充実させていこうというもの。

2. 質疑応答での市からの説明内容

「市長選挙について」

《記者からの質問》

市長選に名乗りを上げられた2人をどう見ているか。また、特定の人を応援する予定はないのか。

《回答》

当初から、後継指名はせず中立でいくと申し上げていたせいかもしれないが、どちらの陣営からも声はかからず、選挙に関しては他の人から噂話を聞く程度のことしか分からない。今の時点で、どなたにというようなことは考えていない。あとわずかで告示なので、どなたが市民からより多くの支持を得られるかを見守っていききたい。

「埋没林博物館敷地内での探査で新たな樹根が発見されたことについて」

《記者からの質問》

先日、埋没林博物館のほうで26年ぶりに樹根が見つかり、しかも定説より1000年昔のものではないかという話がでてきたが、今後の利活用を考えているか。

《回答》

3000年前ということになれば、時代がぐっとさかのぼることになるので来館者に説明することでまた歴史観が変わると思う。これからのPR効果を大いに狙っていききたい。

《質問》

展示の表記を変えることもあるのか。

《回答》

対応等、まだ決まったことはない。調査の成果をもとに今後正しい情報を皆さんにお伝えすべく協議していききたい。

《質問》

特別天然記念物地内は掘れないがもうちょっと（調査の）範囲を広げていこうかという話はないのか。

《回答》

現在のところ決めていない。今後の検討課題だと思う。

「北陸新幹線開業から1年、経済への影響は」

《質問》

新幹線開業から1年経過し、市内の宿泊施設の稼働状況に変化はあったのか。

《回答》

入込客数などが分かり次第ご案内していきたい。ただ、上半期（27年4～9月）だけをみると大きな落ち込みはない。宿泊施設によって差はあるかもしれないが全体としての落ち込みはないと認識している。3月末時点での、イベントの入込客数も含め数値をまとめる。宿泊はパナソニックタワージャズ社などのビジネス利用が多いと聞いている。

「県東部から関西方面へのアクセス」

《質問》

関西方面へ行くのに、JRの時は魚津 7:08 発のサンダーバードがあったのに、（10時頃までに京都へ到着するには）今はあいの風の始発に乗らなければならない、しかも2回乗り継ぎがあってひどいという実態を取材した。ただ、あいの風のダイヤ改正で、始発に乗れば朝1番のつぎに乗り継げるようになり京都到着が早くなったものの、県東部から関西方面に行きにくいと感じている人は多い。例えば、特急乗り入れ復活などを要請していく考えはないか。

《回答》

特急があった頃に比べ、不便になったと感じている。特急が金沢発着になってからは車内販売もない。JRさんもサービスが低下しないようなんとかしてほしいと思う。ICカードも県内でしか使えないので、あいの風で金沢まで行くといった発想になりにくい。新潟も含め3県で利用しやすい鉄道のありかたを協議すべきではないか。（新幹線の）関西への延伸はまだまだ先のことなので、（あいの風）ライナーなどの利便性を高め、新川地区から少しでも早く行けるように要望している。

「零細企業等への助成」

《質問》

三太郎塾に参加できないような、小規模な事業所にこそ行政の支援が必要なのではないか。

《回答》

例えば魚津アジ天点は未利用魚を使ったすり身づくりを市内のかまぼこ店に広く呼びかけて説明をしたりしている。また、ふるさと寄附への返礼品を扱う業者を募る時も広く声掛けをしている。ただ、三太郎倶楽部のように頑張っている人たちへの、またそれに続く人たちへの応援も必要なので、分けて考えている。